

令和8年度 大阪市立生涯学習センター運営評価委員会 要旨

1 日時 令和8年7月14日(火)午後3時00分～5時00分

2 場所 総合生涯学習センター 第1研修室

3 出席者

【委員】赤尾勝己委員(座長)、出相泰裕委員、西本聡子委員、筒井幹夫委員、有富恵子委員

【事務局】総合生涯学習センター:松原所長、副所長、企画推進課長、事業主幹、管理係長、事業係長、企画推進課係長、職員(記録)、阿倍野市民学習センター所長、難波市民学習センター所長

【オブザーバー】大阪市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当職員

4 次第

(1) 開会

(2) 出席者紹介

(3) 案件 令和7年度生涯学習センター事業の評価について

(4) その他

(5) 閉会

5 会議概要(主な発言等)

※要旨を表すため一部省略、言い換え等を実施

◆案件 令和7年度生涯学習センター事業の評価について

分野1:情報収集・提供と学習相談

(委員)

子ども向けのイベントガイドの「タッチ」について、学校での提供が取りやめになった理由はなにか？

(事務局)

先生方の働き方改革の一環で、学校でチラシ等の配布が難しくなったのが大きな原因である。

(委員)

小さい時からの体験格差ができないようにしていくのが大事である。「タッチ」のような子ども向けの取り組みの情報が学校で子どもたちに平等に提供できないと、本来、来てほしい子どもにも情報が届きにくくなってしまう恐れがある。例えば、不登校児童・生徒と保護者を対象とした取り組みについてある中学校にチラシを送らせてもらったことがあるが、他の学校でも情報提供コーナーみたいなものが設置されればいいと思う。

(教育委員会)

学校でのチラシ等の配布はできなくなったが、今後、ポスター掲示等ができないかと考えている。また、全校ではないが、「タッチ」の発行に合わせて、各校のホームページや学校からの配信アプリ等に情報を載せていただけるよう教育委員会から各小中学校に依頼している。今後とも周知に努めてまいりたい。

(委員)

PTA協議会では理事会を通じて周知を行った。また、学校から様々な情報が配信アプリを通じて継続的に周知されており、保護者も徐々に慣れてきていると感じる。継続が大事かと思う。

(委員)

『いちょう並木』にたくさんの情報が載っており、広めていければとの声も聞く。今後とも周知をお願いしたい。

分野2:現代的・社会的課題に関する学習機会の提供

(委員)

識字・日本語教室のニーズが高く、教室に入りきれない学習希望者の解消に向けた対策は考えられているか。

(事務局)

基礎レベルの日本語教室は、昨年度の9講座を、今年度から、新規にオンライン1講座、短期集中講座2講座の実施で12講座に拡充した。地域の識字・日本語教室も教育委員会事務局以外の部局の主催も含め大阪市全体で41教室あるが、定員に達している教室が多い。また、ボランティアの養成もしっかりやっていきたい。

(委員)

日本語の読み書き、会話のニーズが非常に高いと思われるので、今後、地域の識字・日本語教室をさらに増やしていくをお願いしたい。

(委員)

日本人と外国人の方の共生を進めていくということが大事である。学校に行っていない外国籍の子どもがおり、将来に大きな影響があると考えられる。日本で生活していくにあたって必要な知識とかも学習できれば、うまく社会で生活できるのではないかと思う。

(委員)

社会参加促進につながる事業として、引きこもり児童・生徒の保護者を対象とした「アクティブセミナー」を実施しているが、なかなか参加者が集まらなると聞く。当事者の方々は切実な思いを持たれている。実施状況を説明してほしい。

(事務局)

この講座は、1回2時間の講座を全2回、参加者は12組、講義形式で実施した。自分の子どもの相談や、繋がっていきなと思われた方は何人もおり、後にその講師をされた団体から繋がったと話を伺った。

分野3:人材養成・研修

(委員)

生涯学習推進員とはぐくみネットコーディネーターを兼任されている方はどれくらいおられるのか。兼任化が進むと、学校支援にもつながっていくと思う。

(教育委員会)

確認して後日回答させていただく。

(※後日回答:令和8年度 はぐくみネットコーディネーター1,059人、生涯学習推進員1,062人、両方兼任189人)

(事務局)

学校教育自身が地域と一緒にともにすすめる時代になっており、ますますはぐくみネットコーディネーターの役割は大きくなると思われる。ただコーディネーターの活動状況は地域によって大きく違うため、どの地域とも活動が盛んになるようにコーディネーターの支援をしていきたい。

以前実施した調査研究事業で、はぐくみネットコーディネーターの方へのインタビューを実施したところ、他

の校区がどんなはぐくみネットの活動をしているかを知りたいとの声が多かったことから、教育コミュニティづくり実践交流会を始めた。さまざまなよい事例を広く発表し、共有する。第4回目の今年度も9月に3校区から発表いただく予定である。

(委員)

インストラクターバンクの登録の多い分野や、問い合わせの多い分野は？また、登録者の年齢層とか性別についても教えてほしい。

(事務局)

ヨガや健康体操など体を動かすもの、その他、英語、パソコンなど。インストラクターバンク登録者は60代以上の方が多くを占めている。30代40代の方もここ数年で増えてきている。

分野4:企画開発とネットワーク

(委員)

大学との連携事業について、今後どのような方向性を考えているか。例えば、大学コンソーシアム大阪でも加盟大学による公開講座を実施しており、こうした取組と生涯学習センターとの連携も考えられるのではないかな。

(事務局)

令和7年度は5大学と連携事業をおこなった。大学コンソーシアム大阪との連携も、今後具体的に進めていきたい。

(委員)

文部科学省では、「産官学金」と言って、産業界(産)、行政(官)、大学(学)、金融界(金)が一緒になって、地域内での学習文化を育んでいく取り組みをすすめている。特に従業員の学習を促進するために、まずは経営者に外で学ぶことの意義を認識してもらい経営者向けの取り組みの報告があるが、その中でまだ大阪の報告を聞いていない。以前、関西社会人大学院連合があり、今もコンソーシアム大阪もあり、関西の経済を育んでいくという意味でも、この取り組みもあってもいいかと思う。

(委員)

コンソーシアムにおいても、社会人教育・学び直しは重要なテーマであり、各大学の取組に加えて、コンソーシアムとしてどのような取組ができるか議論している。経営者向けプログラムなど、体系的な事業として実施していく上での課題もあるため、今後、生涯学習センターを含め、さまざまな主体との連携を進めていきたい。

(委員)

市民学習プログラム企画助成事業について、団体育成が目的であり、そのために経費の75%を助成、25%分は団体自ら工夫するという趣旨はわかるが、思った以上に経費の負担感があり、また使い勝手をもっとよくしてほしいとの声もあるので、もう少し柔軟に工夫できないか。特に受講料・参加費をとりにくい事業に対して考慮してほしい。

(事務局)

基本的には自立にむけ多少の負担をしながら実施していただくことが趣旨であり、全額助成を前提としていないものである。社会的課題に関する講座等は受講料を徴収しにくいものもあることは課題だとは思っている。ご意見も踏まえながら、できるだけ明確に応募時に分かりやすくなるよう改善していく。

分野5:区や地域における生涯学習の支援

(委員)

他自治体では、公民館の活動団体が放課後活動に関わったりしている。大阪市の場合、生涯学習ルーム参加者が児童いきいき放課後事業に関わっている事例はあるか。

(委員)

自身の校区で、児童いきいき放課後事業から生涯学習ルームに依頼があり、切り絵体験を行ったところ、大変好評で、以後も普段の切り絵教室に子どもたちが続けて参加している。今月も区役所で作品展示をしているのだが、その中にも子どもの作品が何点か出ている。

そこで、近くの私立高校に切り絵をしませんかと呼びかけたところ、アニメクラブが応じてくれている。生涯学習ルームが小学生、高校生と、少しずつ広がり、面白い動きを見せている。

(委員)

地域のサークルが学校の正規の授業でも活動する、学校が社会に開かれて地域とつながるという例もみられているようなので、サークルから見ると、学びの成果を生かすことになるし、子どもから見ると生活体験が広がるということで、このような可能性もあることを広めてもらいたい。

(事務局)

調査研究でいろいろな事例を収集しているので、情報を発信していきたい。

(委員)

児童いきいき放課後事業と生涯学習ルーム事業、交流することが必要と思う。住之江小学校では、1学期に1回土曜日の午前中を使って生涯学習ルームで活動している人たちが小学生たちに教える取り組みがあった。

(事務局)

今年9月の教育コミュニティ実践交流会で、事例発表校として住之江小学校に登壇をしていただく予定である。

(委員)

地域によって差があるので、このような良い事例をこれからどんどん発信して広めてほしい。

分野 6: 利用促進とサービス向上

(委員)

どれくらいSNSの効果があつたか掴めているか。

(事務局)

SNSの効果検証はできていないが、貸室予約の団体登録数は非常に増えてきている感覚はある。

(委員)

センターを広く知ってほしい。自身が関わっているサークル・委員会などでセンターや事業を宣伝している。

(委員)

初めて委員になったころ、貸室利用があまり周知されていないのではないかと感じたが、館の利用や、予約の取り方とかがすごく良くなっていると思う。利用も増えてきており、本当にいい施設であり、いい事業企画をおこなっており、広く知って利用してもらいたい。

(委員)

総合、そして難波、阿倍野、3館とも非常によくやっている。今後ともこの傾向を維持して、ますますの発展を期待している。